

工房 夢来夢来

む く む く

かわらばん

工房夢来夢来は狭山市
障害者団体連絡会の助
成金によって運営する
在宅障害者のディスア
ビススポットです
月・水・金曜日開所

第 19 号 平成 14 年 4 月発行
狭山市狭山台 4-25 狭山台南小学校内
TEL&FAX 042-956-5364
発行責任者 吉田幸子
E-mail id3a-nkt@asahi-net.or.jp



さし絵 城下登志子

春を迎えて

お陰様で「夢来夢来」も無事に新しい年を迎える事が出来ました。

もう4月、あちら、こちらで花が咲き、とても良い季節になりました。

今年も皆で共に助け合いながら活動していきたいと思っておりますので、宜しく願いいたします。

吉田 幸子

感動した1日

狭山台南小の子供たちから、車椅子をいただきました。

昨年11月28日台南小体育館にて、わたしたちは車椅子贈呈式に臨みました。1年間かかって子供たちが自ら行動をおこしてアルミ缶を集めたのです。

きっかけは総合的学習の時間で私たちの工房を見学し、自分たちにできることをしようと思ったということです。

贈呈式で初めてわかった子供たちの行動に私たちは胸一杯になりました。

ひとりひとりの人との関わりのお大切さが言葉にあふれていました。

工房では車椅子は必需品です。大切にに使わせていただきます

『機織りに夢を託して』

S. T

1996年11月、私の道楽ビデオを撮影する為、夢来夢来を訪れて前会長田内さんとの出会いが始まりです。

琴の練習風景の撮影から市民会館で出演を作品にして、テレビ埼玉で放映されて以来、早くも5年近くなりました。

縁あって95年退職する迄の本職、織物で皆さんとお付き合いの出来た事を最高の幸いと思っています。織物をお教える事は基本の縦糸と偉糸が交差して出来る事であると云うだけでしょ。

織物は千差万別、作られる物によって、大変な行程を必要としますが手織りにも、作品を何にするかで、作る人の考え一つに掛かって居ます。原料(糸)は?色は?幅と長さは?それに密度を定めますが、私が種々作っている事を、見て頂きあんな事も、こんな事も出来るのだと云う事を参考になればと望んでいます。

如何なる物でも創作すると云う事は本当に楽しい、出来上がった時の喜び、作品に夢を託して機織りに頑張ってもらいたいと願って居ます。

視覚障害者と機織り

工房では、月、水、曜日に機織り作業をしています。

視覚障害者4名、片腕しか動かさない者2名が励んでいます。

片腕だけでも立派な作品ができる事はもちろんですが、視覚障害者にとって色や模様で型作っていく機織りがどの様に進められていくか多少の不安はありました。

他市からの視覚障害者が、ここに通い始めて1年半。機織りを是非したいという希望が受け入れられる施設は他市を置いて工房しかありませんでした。いづれここから巣立っていく彼等の為機織り専門のボランティアの持尊も始まりました。

この1年半を通して腕をめきめき上げ、私たちの不安もとり払われたのです。

晴眼者は目を頼りに作業を進めていくのですが視覚障害者は指先の感覚を頼りにイメージした色、柄を織り上げていくのです。

これは心で物を見ている証拠でした。

美しいものは心でしか見えないんだよ。と言った星の王子様の言葉をあらためてかみしめています。



ホームページの開設

工房夢来夢来ではホームページを作成しています。

夢来夢来の活動内容などが、書かれています。

ぜひ開いて見て下さい

夢来夢来ホームページアドレス

<http://www.ne.jp/asahi/muku/muku/>

文化刺繍で奨励賞

奥富 千カ

老人保健施設に週2回通いながらムクムクにお世話になって2年程になります。ここで、文化刺繍に出会い、この年になって皆様の、おかげで狭山市民美術展で特別奨励賞を頂きました。

60才過ぎて孫が生まれて初めて、編み物をやっただけで文化刺繍は、初めてやりました。

賞状というものを頂くのは生まれて初めてです。

又市長さんとの写真は、とても嬉しく良い思い出になりました。

これからも、いろいろな作品に挑戦して行きたいと思っています。



寄贈品ありがとうございました

福田雪子 様 ネクタイ

佐藤わか子 様 ネクタイ

編集後記

